

令和6年度 府民参加型公共事業委員会

令和6年10月1日(火)

京都府建設交通部指導検査課
京都府警察本部 交通規制課

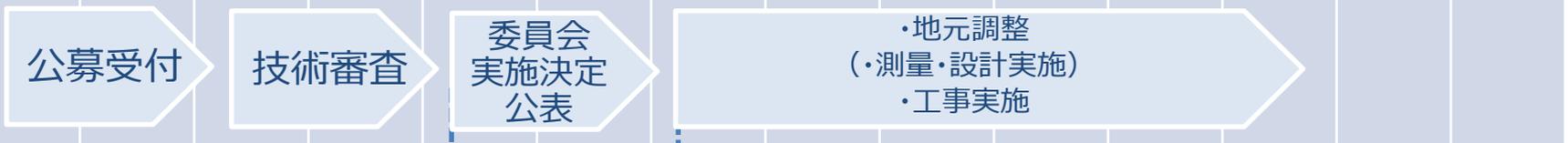


- (1) 府民協働型インフラ保全事業について
 - ①事業制度について
 - ②令和5年度事業の概要について
 - ③提案者情報及びアンケート調査について
 - ④制度運用について

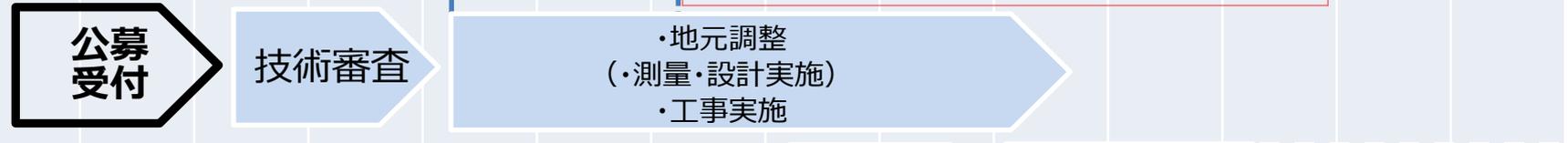
①事業制度について(年間工程)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----

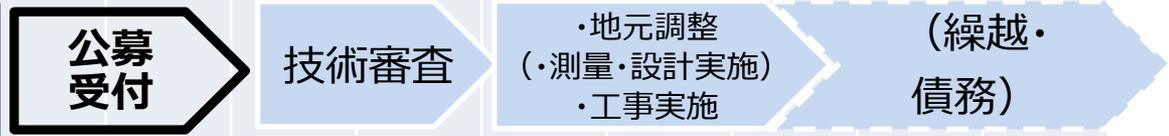
従来型 (リニューアル前 (平成29年度以前))



見直し後 (H30~) ← **①事業実施のスピードアップ
工事着手を2ヶ月短縮**



**②応募制度の充実
春1回⇒春・秋の2回**



③進捗状況の見える化



フォローアップ
委員会

**①事業実施のスピードアップ
委員会を事後方式に変更**

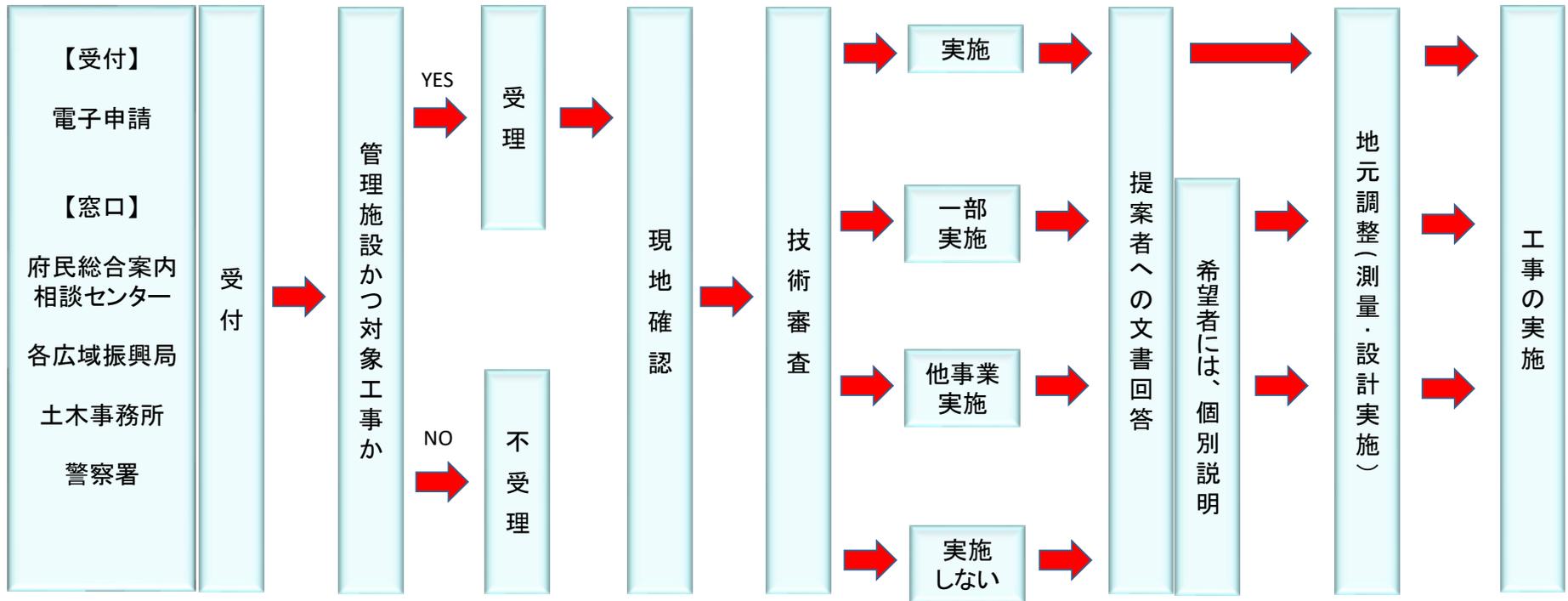
次年度以降における事業の改善検討に活用

①事業制度について(対象工事・運用)

リニューアル
③〇〇〇

対象工事	運用
<p>【安心・安全整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 側溝整備による歩行空間確保 二 歩道の段差解消 三 ガードレールや転落防止柵の設置 四 河川浚渫 五 立木伐採 六 信号機の改良、横断歩道の設置など <p>※ 用地買収を伴う提案は不可</p> <div style="border: 2px dashed red; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>【インフラ長寿命化対策】 追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 舗装補修 二 河川護岸等の修繕 三 道路法面等の修繕 四 標識等の支柱部の腐食補修など </div>	<p>①募集は春(4~5月)・秋(9~10月)の2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ H30は 2次募集は、安心・安全整備(河川護岸や道路法面等の修繕、河川浚渫)に限定して募集したが、<u>R1以降、2次募集でもインフラ長寿命化対策を募集</u> ※ ・ 1次募集:4~5月で年度内に完成できる工事等を選択 ・ 2次募集:9~10月で次期出水期までに対策が必要な工事等を優先して選択 ※ コロナ対応 R2はコロナ禍の影響を考慮し、<u>2次募集開始を1か月前倒しし、募集期間を3ヶ月(8~10月)に拡大。</u> <p>②提案フォームはチェック式の導入等により、簡素化</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ R2以降の改善 安心・安全整備、インフラ長寿命化対策で様式を分けていたが、分類が分かりにくいとの意見があったため、<u>様式を統一</u> <p>③委員会の審査は省略し、事務所の技術審査をもって実施決定。 完成後にフォローアップ委員会を開催(R2.8.4) ⇒ 工事着手までの期間を<u>2ヶ月短縮</u></p> <p>④審査結果に加え、「設計中」「入札手続中」「工事中」「完成」などの<u>進捗状況もHP公表</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ※ R2以降の改善 応募要領に公表時期を明記

①事業制度について(提案から工事実施まで)



- ・受付時に明らかに不受理、不採択となるものについては口頭で理由を説明。
- ・不受理となったものについては、提案者に理由を説明のうえ、管理者情報等を提供。
- ・不採択の場合は、提案者へ文書回答と合わせ、希望者に電話等で個別に説明。
(採択となった提案については、文書回答のみ)

②令和5年度事業の概要について(提案・採択件数)

地域別提案・採択一覧

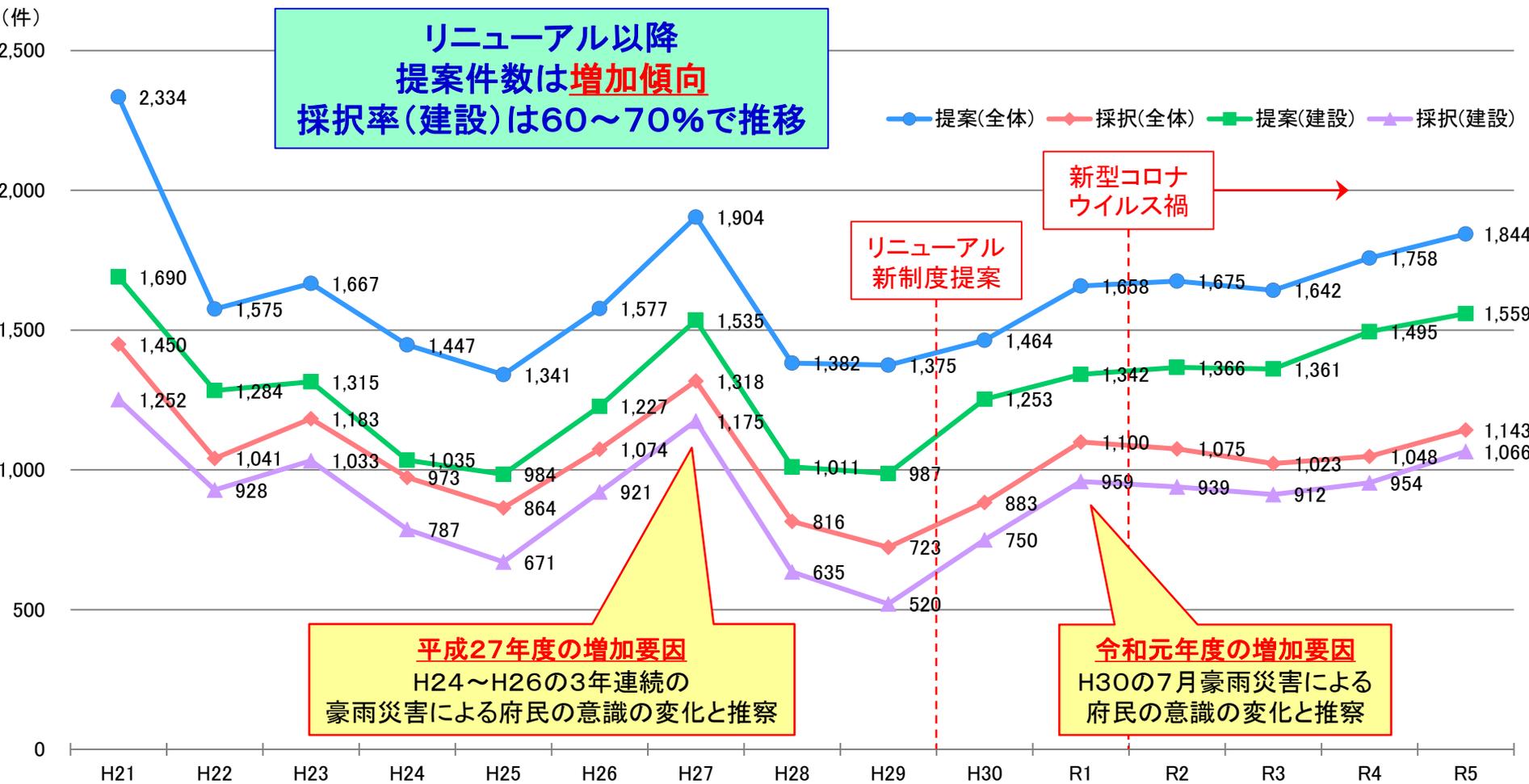
(単位:件)

	1次募集(4/1~5/31)				2次募集(9/1~10/31)			保留 追加採択 ^{※2}	経過観察 追加採択 ^{※3}	合計	
	提案	採択 ^{※1}	保留 ^{※2}	経過観察 ^{※3}	提案	採択 ^{※1}	経過観察 ^{※3}			提案	採択 ^{※1}
京都市域	25	12	0	0	8	6	0	0	0	33	18
山城局	158	113	4	0	108	90	0	4	0	266	207
乙訓	20	17	2	0	26	21	0	2	0	46	40
山城北	70	39	2	0	33	31	0	2	0	103	72
山城南	68	57	0	0	49	38	0	0	0	117	95
南丹局	251	169	12	0	122	94	0	5	0	373	268
南丹	248	168	12	0	122	94	0	5	0	370	267
ダム	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1
中丹局	179	119	1	6	170	131	0	0	0	349	250
中丹東	73	51	0	0	104	80	0	0	0	177	131
中丹西	106	68	1	6	66	51	0	0	0	172	119
丹後局	288	153	5	7	231	148	12	4	0	519	305
港湾局	11	10	0	0	8	8	0	0	0	19	18
小計	912	576	22	13	647	477	12	13	0	1,559	1,066
警察	282	77	-	0	-	-	-	-	0	282	77
その他	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0
合計	1,195	653	22	13	649	477	12	13	0	1,844	1,143

採択率 62.0%

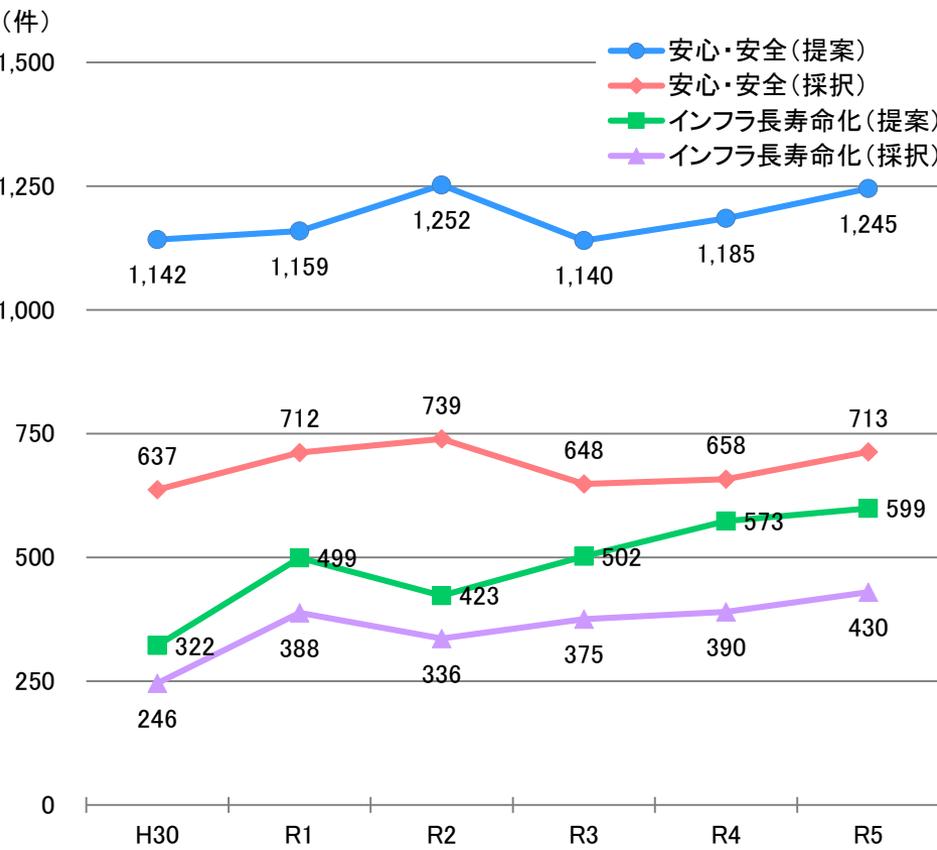
- ※1 他事業で実施するもの、経過観察を行うものは、採択件数に含まない。
- ※2 安心・安全整備の提案のうち、予算上の制約により採択を保留したものは、2次募集の提案と合わせて技術審査等を行い、採択を決定する。
- ※3 インフラ長寿命化対策の提案のうち、採択基準に達しておらず、経過観察としたものは、損傷の進行に応じて採択を決定する。

②令和5年度事業の概要について(提案・採択推移)



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (1次のみ)	合計
提案(全体)	2,334	1,575	1,667	1,447	1,341	1,577	1,904	1,382	1,375	1,464	1,658	1,675	1,642	1,758	1,844	1,365	26,008
採択(全体)	1,450	1,041	1,183	973	864	1,074	1,318	816	723	883	1,100	1,075	1,023	1,048	1,143	-	15,714
提案(建設)	1,690	1,284	1,315	1,035	984	1,227	1,535	1,011	987	1,253	1,342	1,366	1,361	1,495	1,559	922	20,366
採択(建設)	1,252	928	1,033	787	671	921	1,175	635	520	750	959	939	912	954	1,066	626	14,128

②令和5年度事業の概要について(提案・採択区分)



■ 提案区分の傾向は昨年度と概ね同様。

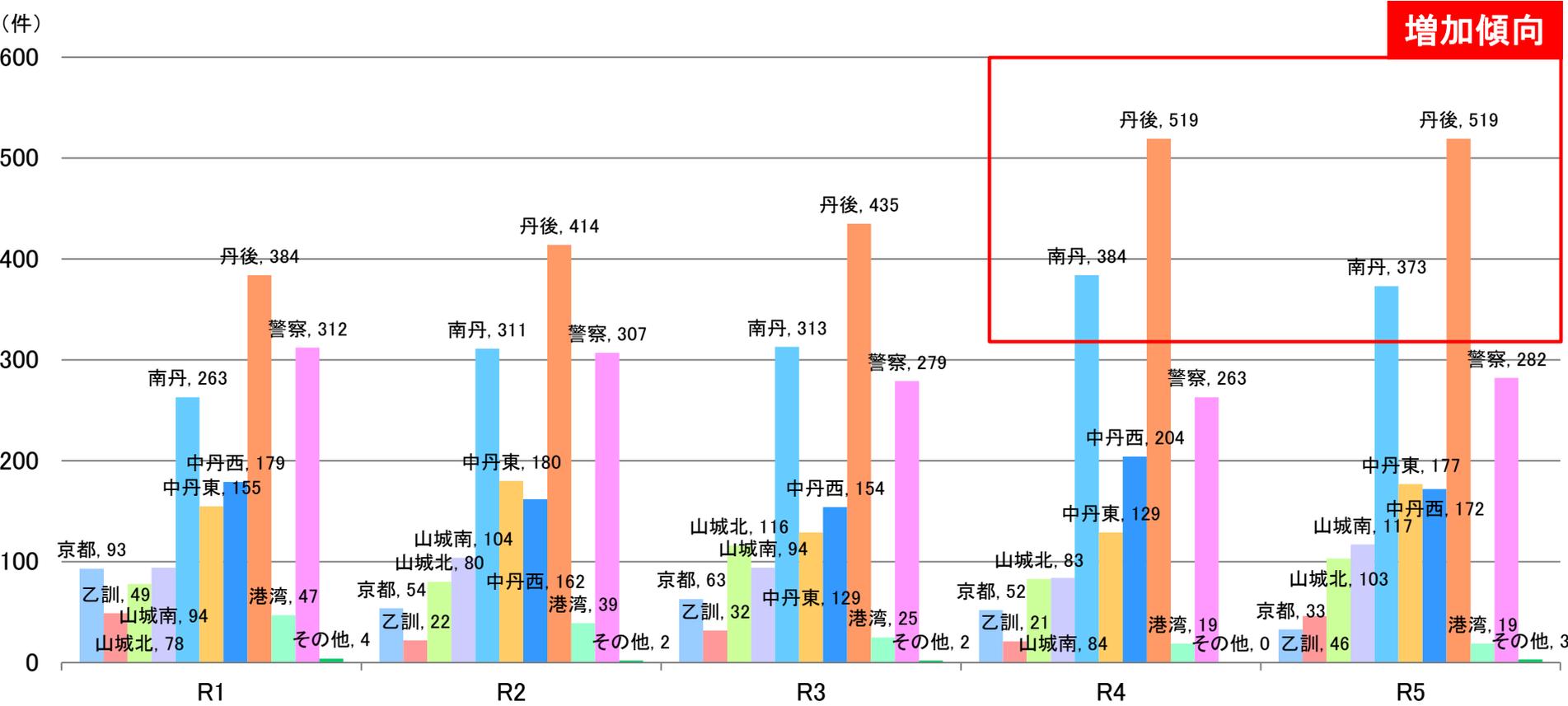
■ 安心・安全が1,245件、長寿命化対策が599件。
長寿命化に係る提案が約3割(R5は32.5%)。

■ 採択率は長寿命化対策が安心安全を上回る。
安心・安全が57.3%、長寿命化対策が71.8%。

舗装のひび割れや側溝の整備、河川の浚渫や護岸の改良に関する提案が多く、日常的に利用されている府民の皆様からの“気づき”により、府民協働によるインフラ保全を着実に推進できている。

		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (1次のみ)	合計
安心・安全整備	提案数	1,142	1,159	1,252	1,140	1,185	1,245	848	7,971
	採択数	637	712	739	648	658	713	-	4,107
	採択率	55.8%	61.4%	59.0%	56.8%	55.5%	57.3%	-	51.5%
インフラ長寿命化対策	提案数	322	499	423	502	573	599	517	3,435
	採択数	246	388	336	375	390	430	-	2,165
	採択率	76.4%	77.8%	79.4%	74.7%	68.1%	71.8%	-	63.0%
合計	提案数	1,464	1,658	1,675	1,642	1,758	1,844	1,365	11,406
	採択数	883	1,100	1,075	1,023	1,048	1,143	-	6,272
	採択率	60.3%	66.3%	64.2%	62.3%	59.6%	62.0%	-	55.0%
長寿命化提案率		22.0%	30.1%	25.3%	30.6%	32.6%	32.5%	37.9%	30.1%

②令和5年度事業の概要について(地域別提案状況(全体))

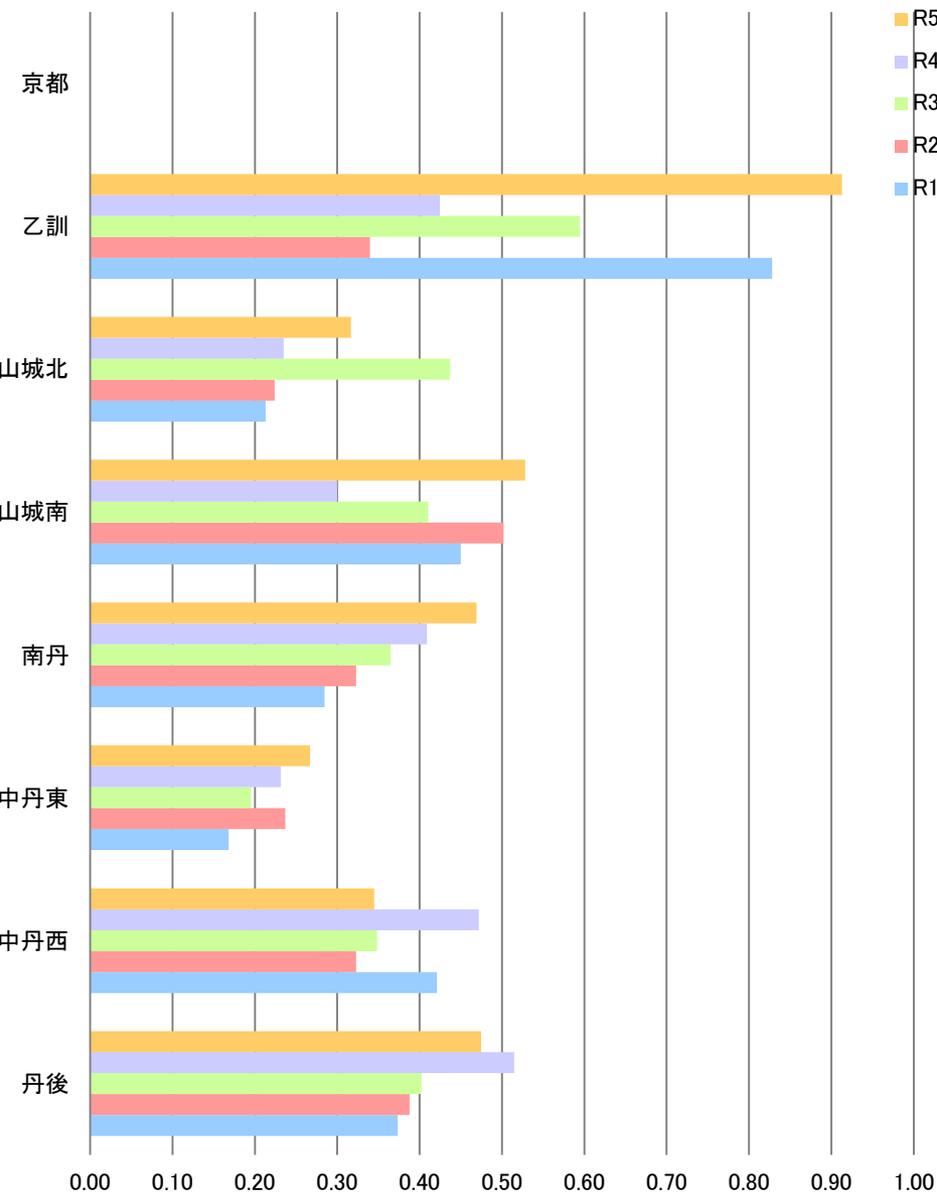


建設交通部関係の提案では、南丹以北地域の提案が約8割
 (R1・76.6% , R2・81.0% , R3・77.6% , R4・83.9% , R5・80.8%)

■提案地区の偏りが目立つ。
 ■南丹・丹後の増加傾向が目立つ。
 ⇒南丹以北地域は、各土木事務所の管轄する面積が広く、道路や河川の管理延長が長いことが要因の一つである。

②令和5年度事業の概要について(地域別提案状況(道路))

道路管理延長当たりの提案割合
(道路提案件数/管理延長(km))



土木事務所	延長(km)	割合
京 都	0	0.0%
乙 訓	47.1	2.2%
山城北	183.1	8.5%
山城南	153.4	7.2%
南 丹	498.7	23.3%
中丹東	363.2	17.0%
中丹西	275.6	12.9%
丹 後	621.4	29.0%
合 計	2,142.5	100.0%

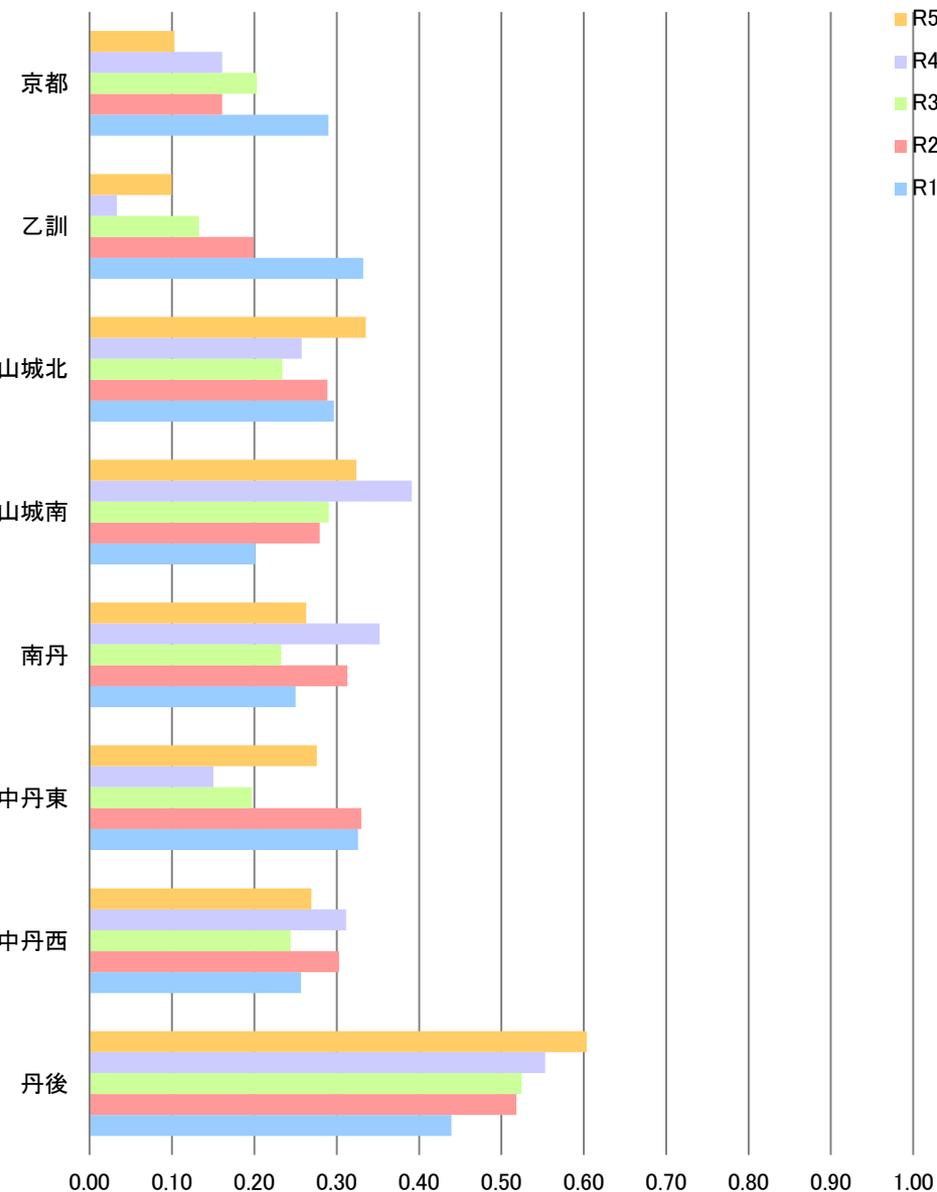
■提案割合の傾向は昨年度と概ね同様。

■地域間の提案割合の差は小さい。
⇒提案件数の差は、管理延長の影響が大きい。

■乙訓では、提案割合が大きい年度がある。
管理延長が短く、提案件数の影響が大きいことが一因。

②令和5年度事業の概要について(地域別提案状況(河川))

河川管理延長当たりの提案割合
(河川提案件数/管理延長(km))



土木事務所	延長(km)	割合
京 都	310.4	16.8%
乙 訓	30.1	1.6%
山城北	128.2	6.9%
山城南	89.5	4.8%
南 丹	460.2	24.9%
中丹東	279.1	15.1%
中丹西	237.7	12.8%
丹 後	316.4	17.1%
合 計	1,851.6	100.0%

■提案割合の傾向は昨年度と概ね同様。

■地域間の提案割合の差は小さい。
⇒提案件数の差は、管理延長の影響が大きい。

■京都、乙訓では、提案割合が小さい。
都市部で、河川整備が進んでいることが一因。
丹後では、提案割合が大きい。
自然河川区間等が多いことが一因。

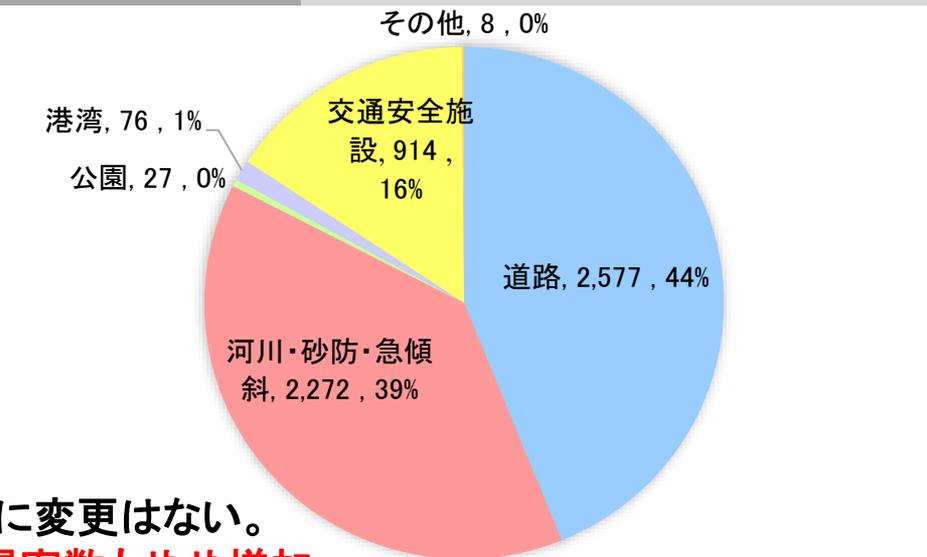
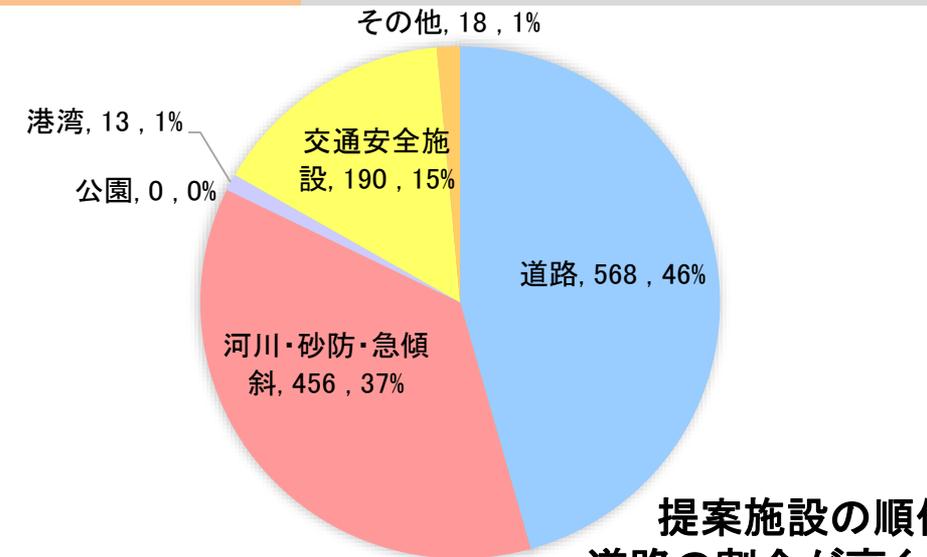
②令和5年度事業の概要について(施設別提案状況)

安心・安全整備

提案数1,245件

【参考】H30～R4

平均提案数1,175件



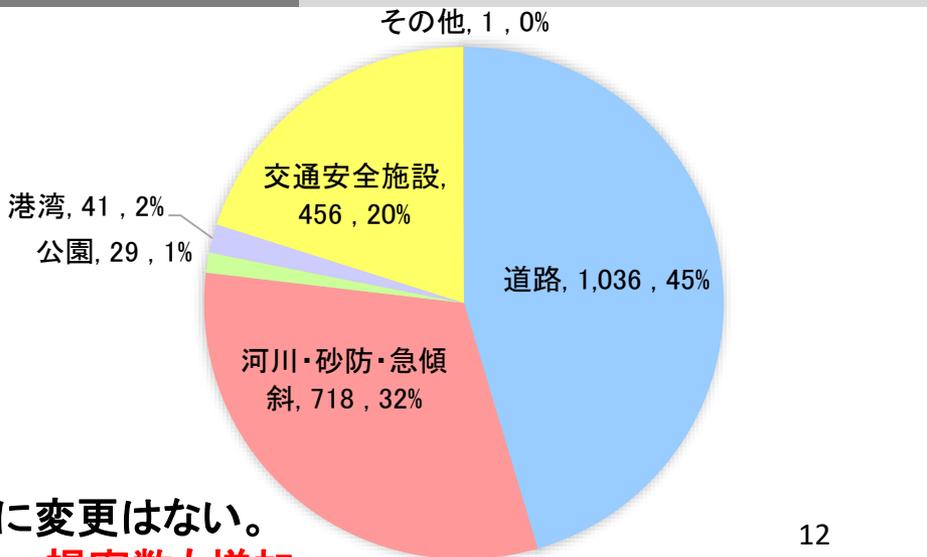
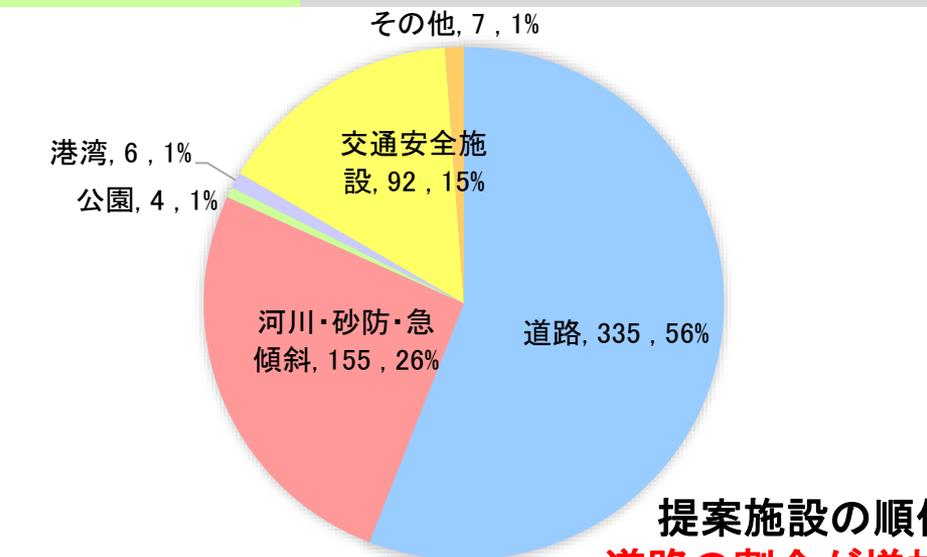
提案施設の順位に変更はない。
道路の割合が高く、**提案数もやや増加。**

インフラ長寿命化

提案数599件

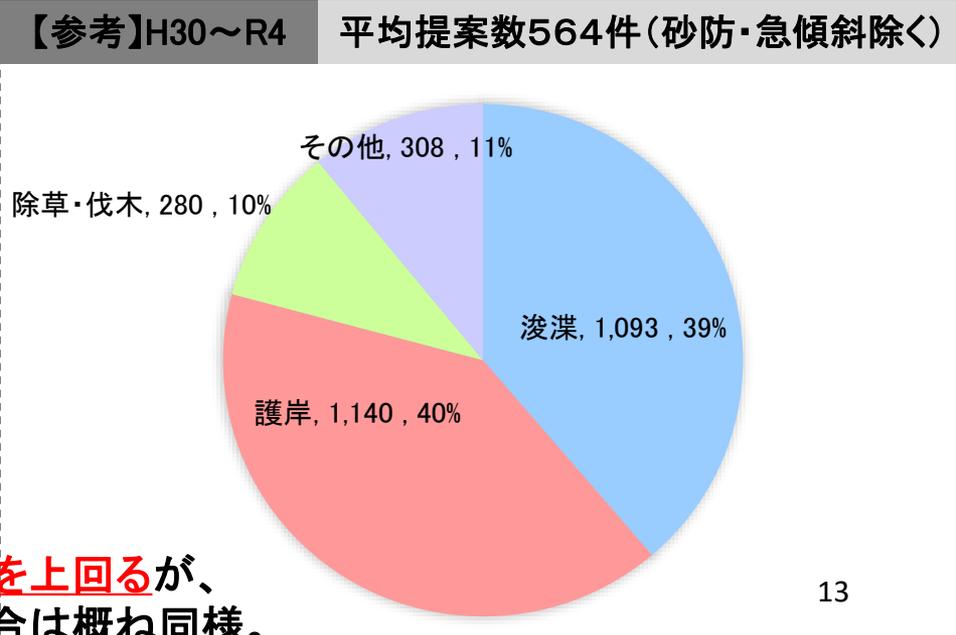
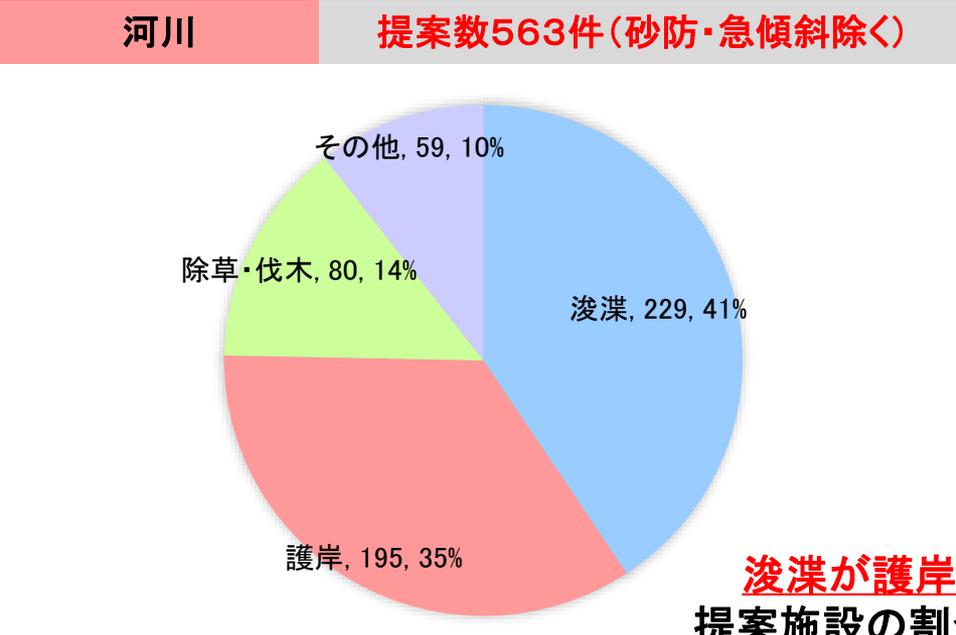
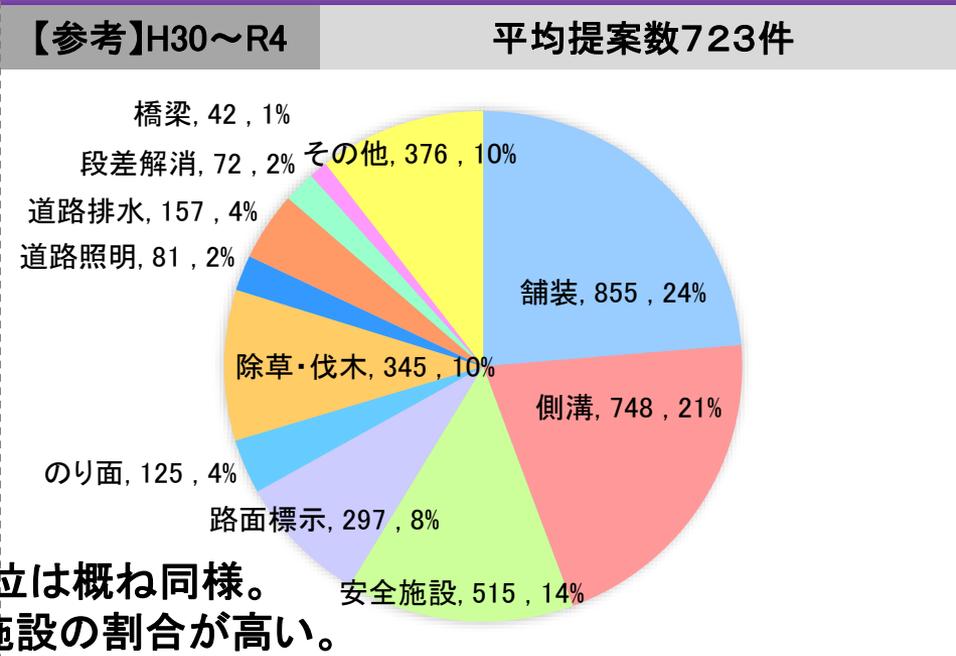
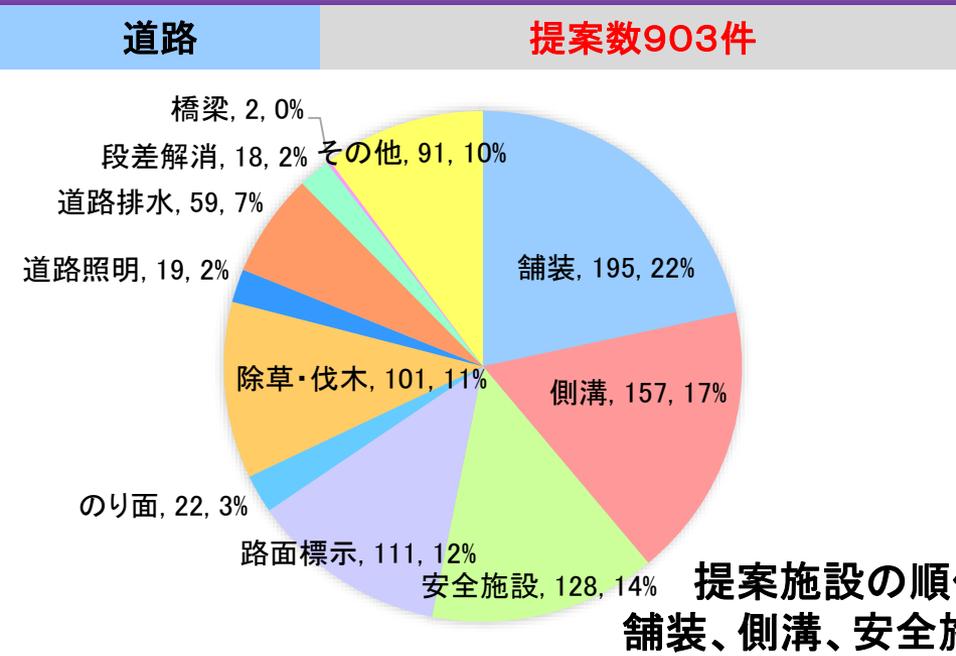
【参考】H30～R4

平均提案数456件



提案施設の順位に変更はない。
道路の割合が増加し、**提案数も増加。**

②令和5年度事業の概要について(工種別提案内訳)



②令和5年度事業の概要について(不採択理由:第1段階チェック)

R5

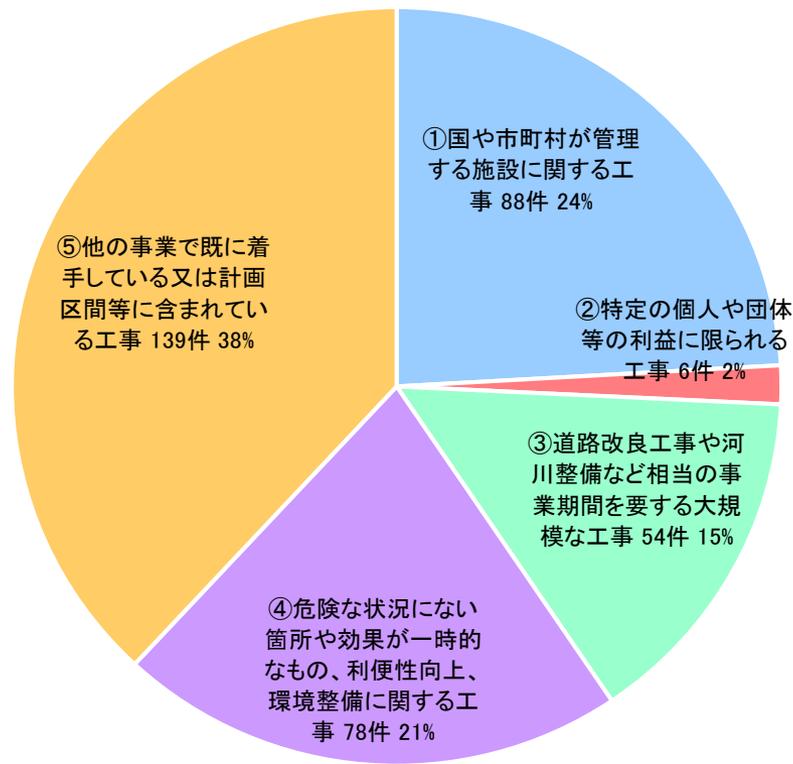
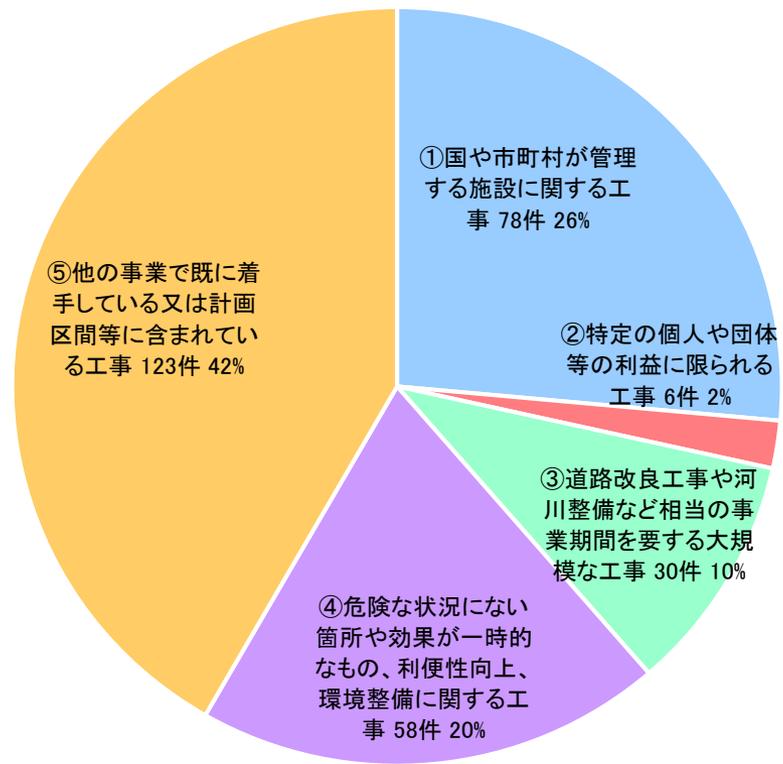
不採択295件の内訳

【参考】R4

不採択365件の内訳

提案数1,559件⇒第2段階チェックへ1,264件

提案数1,495件⇒第2段階チェックへ1,130件



■不採択内訳の傾向は昨年度と概ね同様。

■府の計画と整合する「⑤他の事業で既に着手している又は計画区間等に含まれている工事」が1/3以上。「①国や市町村が管理する施設に関する工事」、「④危険な状況にない箇所や効果が一時的なもの、利便性向上、環境整備に関する工事」の順に多い。

②令和5年度事業の概要について(不採択理由:第2段階チェック)

R5

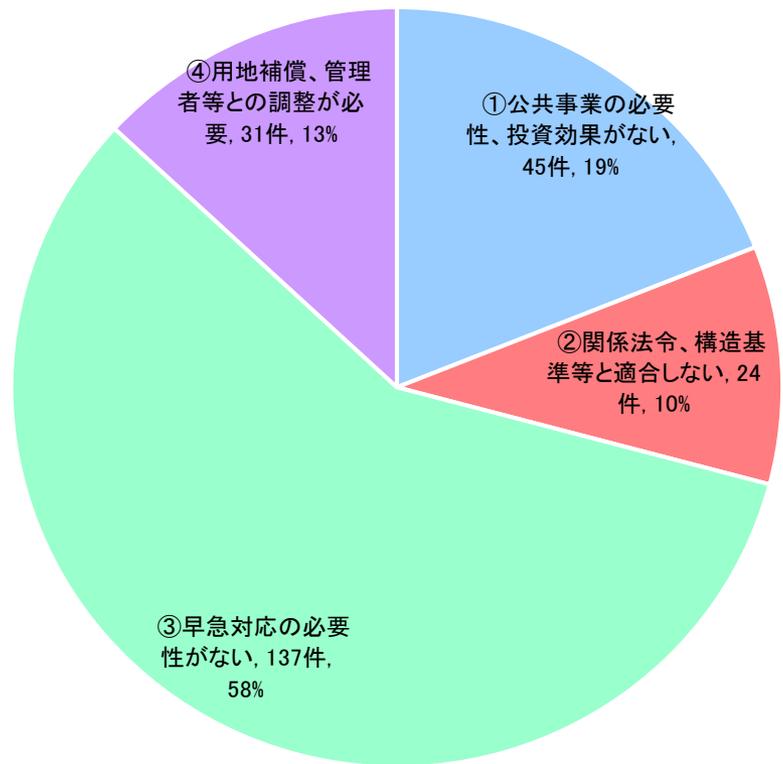
不採択198件(総数237件)の内訳

【参考】R4

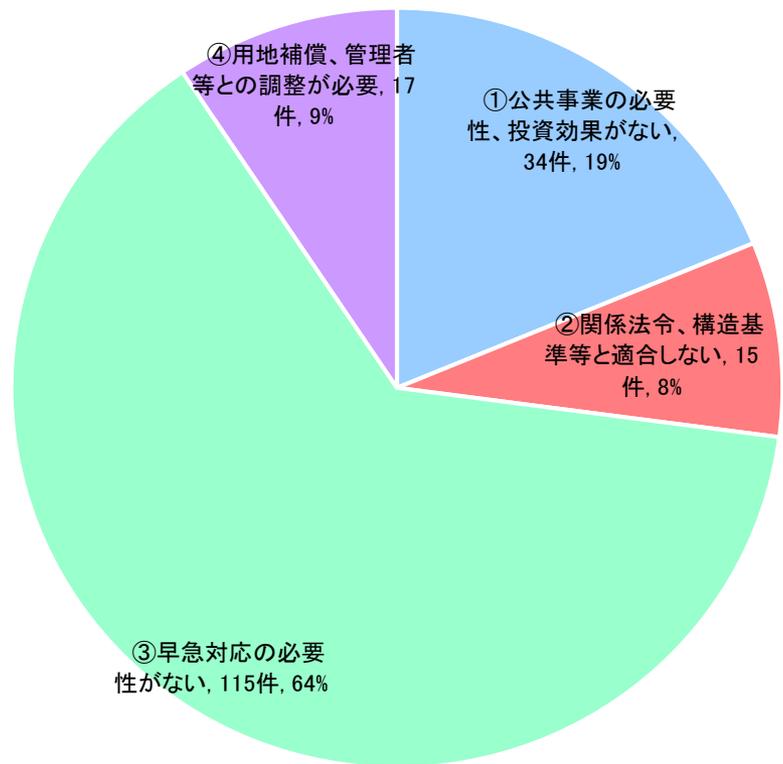
不採択176件(総数181件)の内訳

第2段階チェック1, 264件⇒採択件数1, 066件

第2段階チェック1, 130件⇒採択件数954件



※複数項目にチェックの場合がある。



※複数項目にチェックの場合がある。

■不採択内訳の傾向は昨年度と概ね同様。
 ■「①公共事業の必要性、投資効果がない」、「③早急対応の必要性がない」が不採択理由の約8割。

②令和5年度事業の概要について(採択事例①)

安心・安全整備

【丹後】国道312号(与謝野町)

仮設ガードレール撤去・舗装新設(実施)



安心・安全整備

【丹後】野中小天橋停車場線(京丹後市)

擁壁(一部実施)



②令和5年度事業の概要について(採択事例②)

安心・安全整備

【山城北】上粕城陽線(井手町)

横断歩道のカラー化(実施)



インフラ長寿命化

【山城北】八幡城陽線(城陽市)

舗装修繕・走行車線のカーブ舗装・減速アローマークの復旧(実施)



工事名	宮内一円(城陽市域維持) 道路施設整備インフラ保全工事
工種	舗装工事04
測点	No.2
着工前	

工事名	宮内一円(城陽市域維持) 道路施設整備インフラ保全工事
工種	舗装工事04
測点	No.2
完成	

②令和5年度事業の概要について(採択事例③)

安心・安全整備

【丹後】国道178号(宮津市)

ガードパイプ再設置(一部実施)



安心・安全整備

【乙訓】伏見柳谷高槻線(長岡京市)

地下道乗り入れ部の改修(実施)



②令和5年度事業の概要について(採択事例④)

安心・安全整備

【中丹西】大谷川(福知山市)

堆積土砂の浚渫・立木の伐採(一部実施)



安心・安全整備

【中丹西】塚川(福知山市)

擁壁積み直し・穴埋め等の補強(実施)



②令和5年度事業の概要について(不採択事例:第1段階チェック)

安心・安全整備

【中丹東】排水樋門ゲートの更新

農業用の樋門が老朽化して危険



①国等が管理する施設の工事

安心・安全整備

【山城北】カーブミラーの設置

自宅から右折する際に走行車が見えず危険



②特定の個人等の利益に限られる工事

安心・安全整備

【中丹東】法面の落石対策

法枠上部や法尻に落石あり



③相当の期間を要する大規模な工事
→別途、防災事業等で検討

安心・安全整備

【山城北】ポイ捨て防止ネット等の設置



走行車からゴミがポイ捨てされる
④危険な状況にない箇所等の工事

②令和5年度事業の概要について(不採択事例:第2段階チェック)

安心・安全整備

【乙訓】ガードレール設置

通学路の歩道が狭く危険



②関係法令、構造基準等と適合しない

安心・安全整備

【丹後】ガードレール設置

道路の路肩が狭く危険



②関係法令、構造基準等と適合しない

安心・安全整備

【中丹西】道路法面の補強

道路法面の崩落があり危険



③早急対応の必要性がない

安心・安全整備

【南丹】歩道縁石撤去

縁石の段差で対面への通行が不便



④管理者等との調整が必要

②令和5年度事業の概要について(進捗状況)

建設交通部 令和6年6月末時点

(単位:件)

		提案件数	採択件数	準備中	設計中	入札手続中	工事中	完成	廃工	着手率
R1	1次	789	528	0	1	0	0	525	2	99.8%
	2次	553	431	0	0	0	0	424	7	100.0%
	合計	1,342	959	0	1	0	0	949	9	99.9%
R2	1次	766	506	0	1	0	3	498	4	99.8%
	2次	600	433	1	0	1	2	427	2	99.8%
	合計	1,366	939	1	1	1	5	925	6	99.8%
R3	1次	894	565	0	8	0	4	552	1	98.6%
	2次	467	347	0	4	0	3	336	4	98.8%
	合計	1,361	912	0	12	0	7	888	5	98.7%
R4	1次	955	576	11	30	0	24	509	2	92.9%
	2次	540	378	10	41	0	21	303	3	86.5%
	合計	1,495	954	21	71	0	45	812	5	90.4%
R5	1次	912	589	62	79	25	85	337	1	76.0%
	2次	647	477	109	92	11	67	197	1	57.8%
	合計	1,559	1,066	171	171	36	152	534	2	67.9%

昨年度より少

$$\text{着手率} = \frac{\text{入札手続中} + \text{工事中} + \text{完成}}{\text{採択件数} - \text{廃工}}$$

■R1～R3の提案では、準備中は残り1件まで減少(護岸修繕工事。施工方法を提案者と調整中)。
 今後は、設計中の提案の早期完成を目指す(9月末時点で全件が入札手続中又は工事中)。
 ■R4～R5の提案では、準備中が昨年度(R3～R4の合計255件)より少なく、着手率の平均も高い。
 引き続き、準備中の提案の早期調整、設計中の提案の早期発注を目指す。
 ※進捗状況は、毎年6・9・12・3月末時点の状況を翌月に京都府ホームページで公表。

③提案者情報及びアンケート調査について(調査概要)

【提案者情報及びアンケート調査内容】

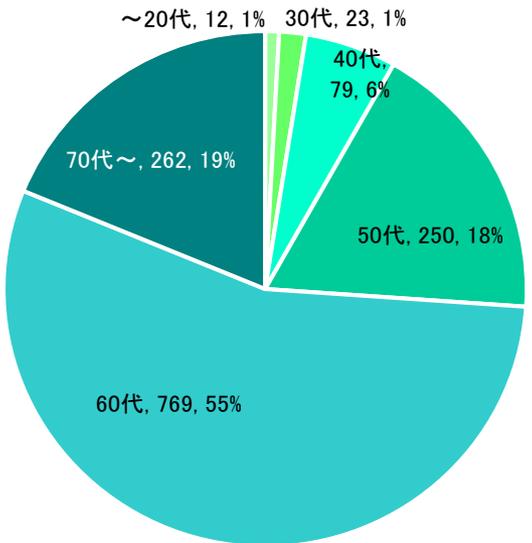
- ・提案者の年代
- ・提案者の職業
- ・自治会からの提案割合
- ・提案内容に気付いた経緯
- ・提案内容に関する相談の有無
- ・審査結果に関する説明の希望
- ・提案方法(電子申請の利用状況等)

【令和5年度アンケート調査回答数(建設交通部)】

- ・提案数 1,559件 (1次 912件+2次 647件)
- ・回答数 1,533件 (1次 895件+2次 638件)
- ・回答率 98.3% (昨年度 96.1%)

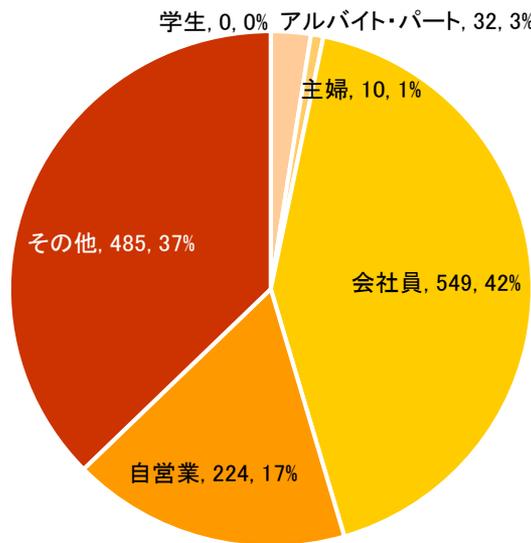
③提案者情報及びアンケート調査について(提案者構成・提案経緯)

提案者の年代



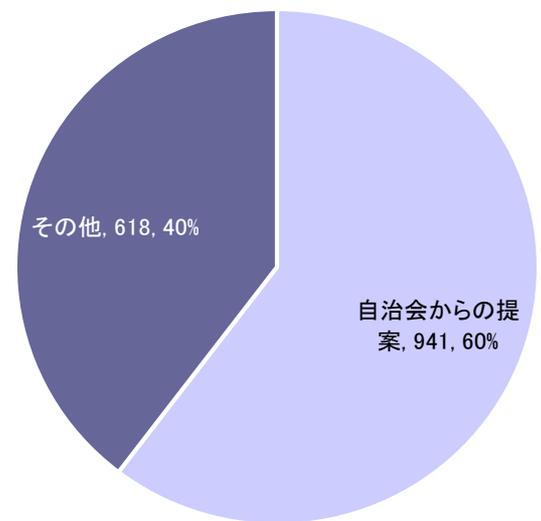
昨年度と概ね同様。60~70代が約7割。

提案者の職業



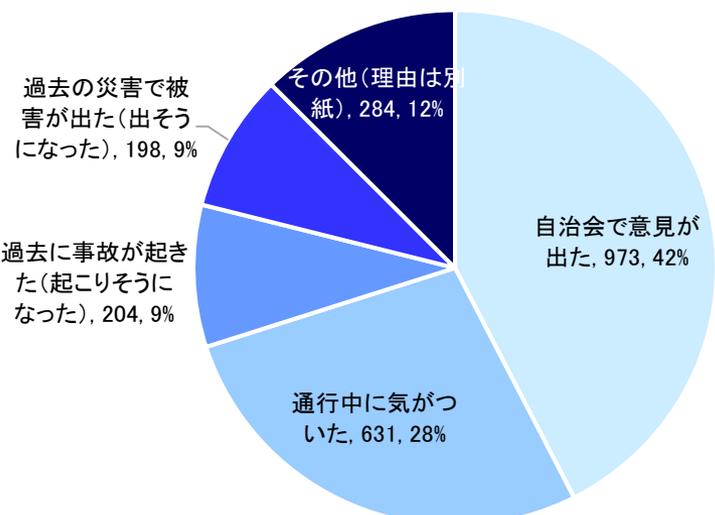
昨年度と概ね同様。

自治会からの提案割合



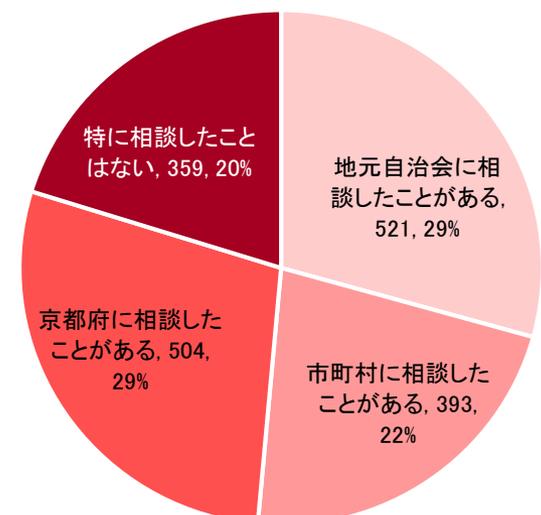
昨年度と概ね同様。自治会の提案が半数以上。

提案内容に気付いた経緯



昨年度と概ね同様。自治会・通行中が約7割。

提案内容に関する相談の有無



昨年度と概ね同様。相談したことがあるが約8割。

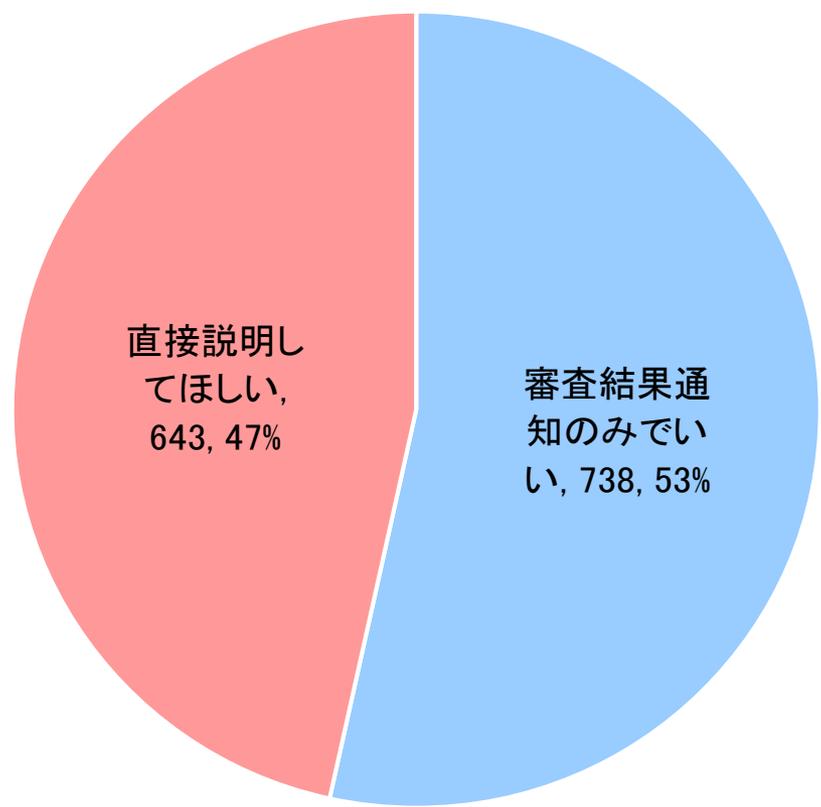
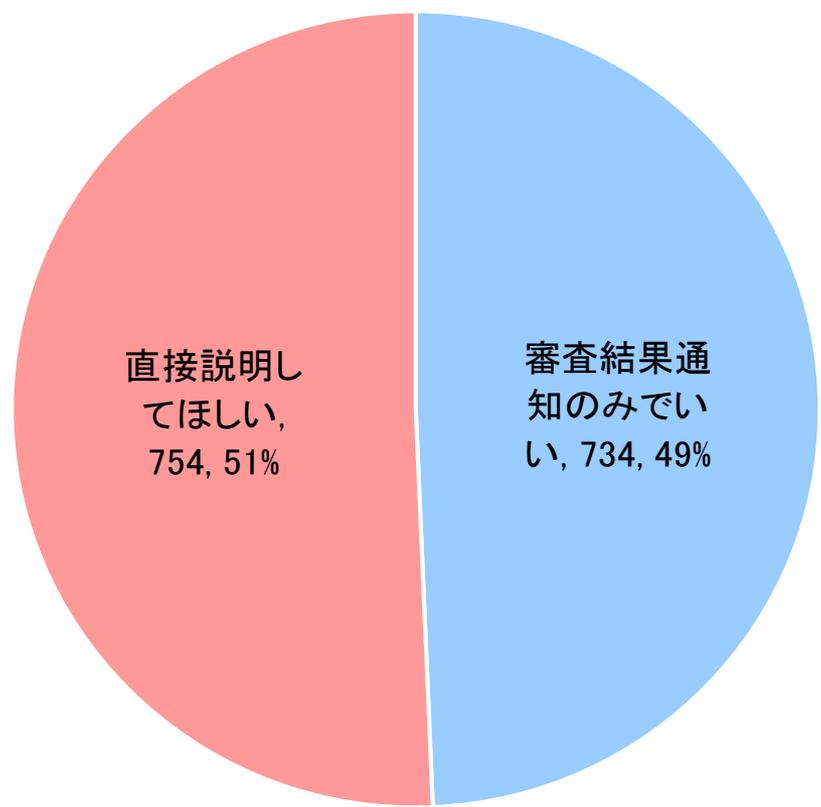
③提案者情報及びアンケート調査について(審査結果説明)

R5

調査回答1,488件の内訳

【参考】R4

調査回答1,381件の内訳



■昨年度と比べ、「直接説明してほしい」が増加。
■昨年度の委員会意見(今後も細やかな対応を)を庁内会議等でも共有し、引き続き丁寧に実施。
※R2の2次募集から不採択となった場合は、文書の送付に加えて、希望者には電話で説明を実施。

③提案者情報及びアンケート調査について(提案方法)

提案方法別 提案件数

		R1		R2		R3		R4		R5		R6 (1次のみ)		合計	
		1次	2次	1次	2次	1次	2次								
電子申請フォーム		54件	13件	61件	44件	152件	75件	154件	81件	157件	110件	212件	-	790件	323件
		67件		105件		227件		235件		267件		-		1,113件	
持参・郵送・FAX (R6からFAXは廃止)		1,050件	541件	1,013件	557件	1,021件	394件	1,064件	459件	1,038件	539件	1,153件	-	6,339件	2,490件
		1,591件		1,570件		1,415件		1,523件		1,577件		-		8,829件	
FAX (建設)	京 都	-	-	-	-	-	-	0件	0件	1件	1件	R6から FAX廃止	-	1件	1件
	乙 訓	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	0件		-	0件	0件
	山城北	-	-	-	-	-	-	0件	0件	1件	0件		-	1件	0件
	山城南	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	0件		-	0件	0件
	南 丹	-	-	-	-	-	-	3件	0件	0件	0件		-	3件	0件
	ダ ム	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	0件		-	0件	0件
	中丹東	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	2件		-	0件	2件
	中丹西	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	0件		-	0件	0件
	丹 後	-	-	-	-	-	-	0件	0件	1件	0件		-	1件	0件
	港 湾	-	-	-	-	-	-	0件	0件	0件	0件		-	0件	0件
小 計		-		-		-		3件		6件		-	9件		
合計		1,104件	554件	1,074件	601件	1,173件	469件	1,218件	540件	1,195件	649件	1,365件	-	7,129件	2,813件
		1,658件		1,675件		1,642件		1,758件		1,844件		-		9,942件	
電子申請の提案割合		4.0%		6.3%		13.8%		12.6%		14.5%		15.5%		11.2%	

■ **電子申請フォームによる提案件数は、対前年1.14倍で件数、割合ともに増加傾向。**
■ **過年度の提案件数、昨年度の委員会意見を踏まえ、R6の1次募集からFAXによる提案を廃止。**
■ **今後も様々な提案ニーズに対応するため、電子申請、持参、郵送による提案の受付を実施予定。**

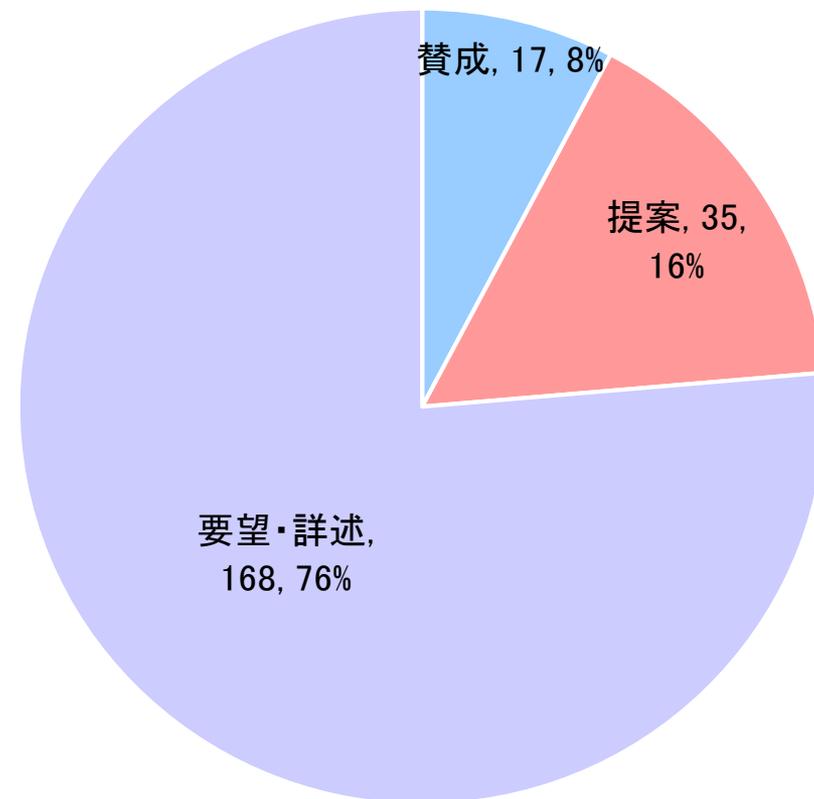
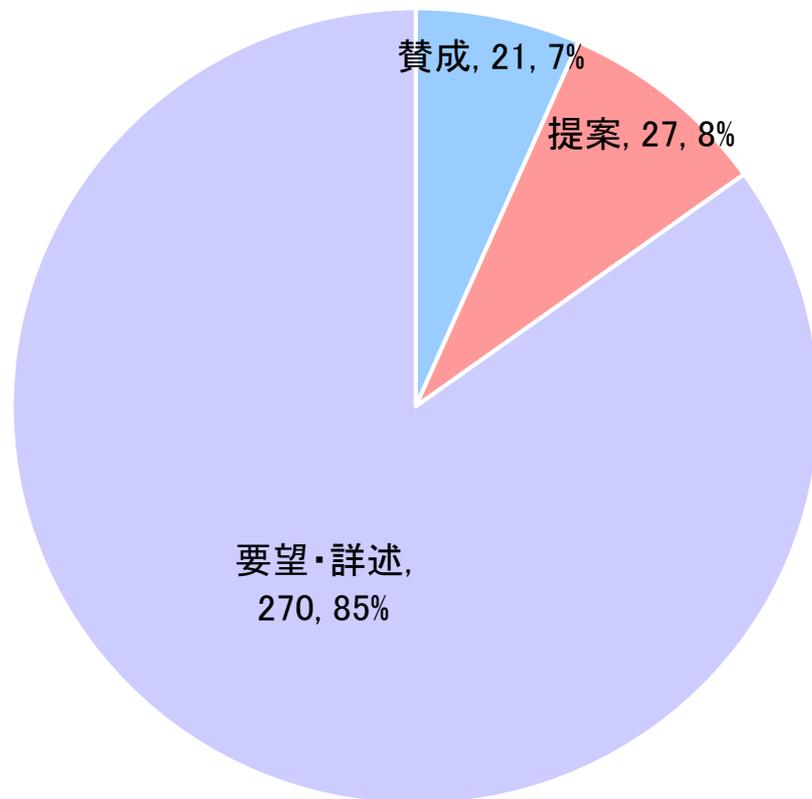
③提案者情報及びアンケート調査について(自由意見①)

R5

自由意見318件の内訳

【参考】R4

自由意見220件の内訳



■昨年度と同様、要望・詳述(危険な状況で早期実施を希望、出水期までの実施を希望等)が約8割。
■賛成(事業継続を希望等)や提案(参考資料も添付したい等)も一定数(約20件、約30件)見られる。

③提案者情報及びアンケート調査について(自由意見②)

<賛成(R5)>

- 1月の積雪による倒木の処理も迅速に実施いただき助かりました。
- 昨年度も同制度で実施していただき、ありがとうございました。本年度も引き続き要望しますのでよろしくお願い致します。
- 堤防の修理や復旧をしていただき、多くの住民が喜んでおります。更に修理や復旧、撤去等をお願い致します。
- いつも丁寧にご相談に乗っていただき、ありがとうございます。今後とも住民のためによりしくお願い致します。
- 復旧工事3件をお世話になり、地元の方から感謝の声が上がっていました。ありがとうございます。
- 道路改修に大変お世話になり、住民一同喜んでおります。今回の要望も地区住民からの意見であり、何卒よろしくお願いいたします。
- 個人で側溝の設置を検討していたが、どのようにすれば水害から守れるかを考えていたところ、本事業で提案してみることにした。
- 個人の方ではどうにもならない面が多々あるため、ぜひ行政の力を貸してください。
- 府民の意見や要望をもとに事業を推進する取組はとても良いと思います。府民の安心安全のため、可能な限り提案の実現をお願いします。
- 本事業を継続していただきたい。
- 小さな案件でも取り上げていただき、ありがたいです。
- 年2回のこのような案件提示はありがたいです。

<提案(R5)>

- 浚渫について、河川の状況にもよるが、何年毎に行われているものなのか教えてほしい。
- 府や市で連携を深めて、同様の事業は同時期にできないものか。
- 技術審査結果について、提案内容、位置図、写真等を全て公表するか、京都府で確認した内容を公表してほしい。内容が把握し難い。
- 技術審査の結果、「他事業実施(不採択)」となった案件についても進捗状況を公表してほしい。
- 進捗状況が「完成」となった案件について、完成状況(写真)を公表してほしい。
- その他の参考資料も添付できるようにしてほしい。
- 不採択の場合は、市役所へ本件をご伝達願います。
- 案内標識は定型語句があるかもしれないが、折角の標識であるため、通行者により早く分かりやすいものに改良した方がよいと思います。
- 綺麗に整備すれば色々な利用方法があると思う。単純に整地しただけでも駐車場にもなる。
- 大規模工事のため実施しないという理由について、本事業で実施できない場合は、他事業で実施を検討するなど、再度考え直してほしい。
- 河川の浚渫について、浚渫と施設の利用を関連付けながら住民の意識向上につながる事業を仕組んでいきたいと考えている。
住民が参画していく地域の維持管理を進める機会にしていきたいと考えている。
- 位置図について、京都府のGIS上で示せるようにしてほしいです。
- 浚渫工法で無理があったのか、その場合は最善の方法を提案いただきたかった。
- このような意見募集があることが地域の町内会でも知られていません。折角の機会のため、もっと周知を図られるようお願い致します。
- 未完成理由、状況、今後の見通しについて、住民に説明する必要があるため、具体的な内容を文書で回答をお願いしたい。
- 認定外の道路との合流部のため採択されないのであれば、他の解決策をお知らせいただければと思います。
- 府への届出により(作業前後の写真を添付するなど)、地元で伐採作業ができるようにしていただきたい。
- 度々浚渫をしていただいているが、長期的に何か良い方策がないかも検討していただきたい。

④制度運用について(京都府HP以外の周知)

京都府広報課 X

← ポストする



府民の皆様のご身近な「気づき」を、地域の安心・安全やインフラの長寿命化に活用★「府民協働型インフラ保全事業」2次募集開始📢

皆様からのご提案をお待ちしています👏

🟢期間：9/2（月）～10/31（木）

提案方法や過去の実績など📄
pref.kyoto.jp/koubo-kouji/

府民協働型インフラ保全事業 2次募集を開始します！

京都府では、府民の皆様のご身近な「気づき」を、地域の安心・安全やインフラの長寿命化に活かすための「府民協働型インフラ保全事業」を実施しています。

対象施設：京都府が管理する道路や河川等の施設
※2次募集では交通安全施設（信号機や横断歩道）は対象外です。

🟢9/2～10/31
受付期間内。

📄必要な書類も、
👤受付窓口で提出

午前10:00・2024年9月2日・1,970件の表示

4 リポスト 7 件のいいね

丹後土木事務所 X

← ポストする



【地域の「気づき」で道路、河川を改善】令和5年度府民協働型インフラ保全事業（2次募集）が始まります！！

- 🟢募集期間：2023年9月1日～10月31日
- 🟢応募方法：HPからの電子提案、郵送等
- ⚠️京都府の管理する施設に限られます。

📄応募要領等

午前9:08・2023年8月31日・254件の表示

京都府広報課 Facebook

府民の皆様のご身近な「気づき」を、地域の安心・安全やインフラの長寿命化に活用★「府民協働型インフラ保全事業」2次募集開始📢

皆様からのご提案をお待ちしています👏

🟢期間：9/2（月）～10/31（木）

提案方法や過去の実績など📄
<http://www.pref.kyoto.jp/koubo-kouji/>

乙訓土木事務所 Facebook

【令和5年度府民協働型インフラ保全事業（2次募集）のご案内】
 京都府では、府民の皆様のご身近な「気づき」を、地域の安心・安全やインフラの長寿命化に活かすための「府民協働型インフラ保全事業」を実施しています。

皆様のご提案をお待ちしております。

🟢募集期間：令和5年9月1日（土）～10月31日（木）

📄応募方法：京都府が管理する道路や河川等の施設

📄対象事業

(1)安心・安全整備
 事故防止の安心・安全につながる小規模な工事
 ・歩道の点検・修繕、道路標識の整備、コードレールや転倒防止壁の設置
 ・点検、土木関係 など

(2)インフラ長寿命化対策
 長寿命インフラの実現に寄与する府民の気づきをもとに調査・補修を実施
 ・舗装
 ・河川護岸、堤防
 ・道路のり面 など

※河川護岸が必要な区画や大規模な工事となる区画は対象外となります。

応募方法等、詳しくは、京都府HPに掲載している応募要領をご覧ください。
 「府民協働型インフラ保全事業」

④制度運用について(不採択事例の周知)

南丹土木事務所 配布チラシ

「府民協働型インフラ保全事業」の不採択事例

下記写真のような要望箇所については、不採択となりますので、ご確認の上、ご提案をお願いします。



提案内容
道路と田の間に草が生えないように防草シートを設置して欲しい。

不採択

【理由】
防草シートは、交差点など車が生えて対向車が見えなくなり、交通に支障を及ぼす恐れがある場合のみ設置するため



提案内容
市道から峠道に出る際、見通しが悪く危険なため、カーブミラーを設置して欲しい。

不採択

【理由】
市道のために必要なカーブミラーとなり、それぞれの管理者が設置すべきものとなるため



提案内容
取水施設が壊れたため、復旧して欲しい。

不採択

【理由】
京都府が管理する施設でないため、本事業の対象外となる。

応募要領(P.7)の対象外工事(不採択事例)も参照願います。

丹後土木事務所 配布チラシ

よくある不採択事例

以下のようなご提案については本事業の対象外となりますのでご注意ください。

府が管理していない施設

市町道

市町村道など、府が管理していない施設については、本事業の対象外になります。

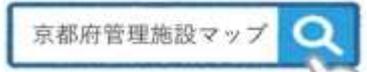
大規模な事業

道路拡幅や道路の新設、歩道の設置などは、大規模な事業となるため実施できないことがあります。

環境整備に関わるご提案

ゴミの不法投棄対策、除雪の要望など、環境整備に関わるご提案は本事業の対象外になります。

● 「京都府管理施設マップ」で京都府の管理施設を調べることができます！



※京都府の管理する道路、河川等の主な施設の大まかな位置が表示されます。ご提案する際にご活用ください。



④制度運用について(他事業実施事例①)

インフラ長寿命化

【丹後】浜詰園地(京丹後市)

柵の補修(他事業実施)



インフラ長寿命化

【山城南】上野南山城線(南山城村)

路面標示の再施工(他事業実施)



④制度運用について(他事業実施事例②)

安心・安全整備

【南丹】園部川(南丹市)

堆積土砂の浚渫(他事業実施)



提案を受け、緊急浚渫推進事業で実施

安心・安全整備

【丹後】竹野川(京丹後市)

堆積土砂の浚渫(他事業実施)



提案を受け、緊急浚渫推進事業で実施

【参考】令和5年度委員会意見(R5.8.23開催)

＜玉田座長＞

- 提案の受付回数について、職員の働き方改革の観点から現在の2回を1回に減らす等も考えられ、今後の参考としてもらいたい。
- 提案の受付方法について、提案者が少ない場合はFAXは止め、自治会長に働きかける等、電子申請を増やす取り組みを進めてはどうか。
- 第1段階チェックで不採択となった提案のうち、他事業実施に分類されたものは府の事業を正当化する指標になり得る。
- 第2段階チェックの不採択理由に「関係法令、構造基準等と適合しない」の項目があるが、河川堤防の護岸整備や歩道照明が「関係法令、構造基準等に適合しない」で不採択となることに疑問が残る。技術審査は倫理観を持ち、しっかりと審査してもらいたい。
- 採択箇所の進捗状況について、R1年度とR2年度の河川工事が未着手となっているが、提案から1～2年で対応すべき中で時間が経ち過ぎている。5年程度経過した場合は、台風等により浚渫土が流されてしまっていないか等、事業の妥当性を確認した上で進めているのか。
- アンケートの自由意見について、件数も入れてはどうか。ネガティブな意見もあると思うが、ポジティブな意見の件数が分かる方が職員の励みとなる。職員がやりがいを感じる資料のまとめ方をしてもらいたい。

＜三宅委員＞

- 第2段階チェックの不採択理由に「予算不足」の項目はないが、予算は足りているのか。予算不足のために、優先順位を付けて順位が低い提案を不採択としていることはないのか。今後災害の増加が予想される中で、予算は現状維持で良いのか、増額を検討しなくて良いのか。
- アンケート調査は提案時に回答されているため、採択通知等が送られることを知らない方が採択結果の通知をもらえるのか、不採択理由を教えてもらえるのか提案時に心配されていたと思われ、採択結果や不採択理由の連絡を受け、安心されているのではないかと考えられる。
- アンケート調査について、潜在的に良い評価が多いのではないかと思う。要望事項と併せて、事業に対する印象や満足度を聞き取り、より丁寧に把握することで、より良い事業にできると思うため検討してはどうか。

＜横山委員＞

- アンケートの自由意見にある事業の周知方法と進捗状況の連絡について、提案者は採択箇所の工事が始まる時期を気にしている。
- 信号機新設の提案は、設置条件を満たさずに不採択となる事例が多い。提案者に対して不採択理由の説明を続けることに加え、建設交通部のような不採択事例を作成し、周知すると理解を得やすいのではないか。

＜脇本委員＞

- アンケートの審査結果の通知方法について、不採択や一部実施となった場合は希望者に文書だけでなく、電話で不採択理由を説明されており、今後もきめ細やかな対応を続けてもらいたい。
- 負担の少ない方法で工事着手時に提案者へ連絡等の配慮をお願いしたい。ニーズが高い事業であり、引き続き事業を実施してもらいたい。
- 府管理施設の要望が市町村に寄せられた場合、府に情報提供している。市町村管理施設の提案の情報をいただければ対応していきたい。

【参考】令和4年度委員会意見(R4.8.10開催)

＜玉田座長＞

- 河川の浚渫に採択基準や目安を作成することはできるが、予算が限られる中で基準を超えた提案に優先順位をつける必要があり、不採択の判断をせざるを得ないこともある。府民の納得を得ることは難しいかもしれないが、後に検証した際にしっかり説明できるように整理し、不採択の判断をする必要がある。
- 不採択の中に事業化すべき提案や他の管理者に報告すべき提案が見つかる場合があるため、不採択数を減らす方策を取る必要はない。
- HPのアクセス先が分かりにくいいため、土木事務所ですべての提案を管理しているSNS等を用いて、HPにアクセスできるような発信を行うと良い。

＜三宅委員＞

- 本事業を知らない府民が、本事業の対象となる提案をしたいと思っても、HPに辿り着けない懸念がある。HPにアクセスしやすいように構成を分かりやすくした方が良い。
- 府民に事業を理解してもらうためには、HPを分かりやすくすべき。例えば、応募要領のPDFに不採択事例の記載があるが、HP上でも見られるようにする等の工夫をしてはどうか。

＜三好委員＞

- 河川の浚渫の提案が多いが、計画断面に対して、現状どの程度堆積しているかを示した方が分かりやすい。不採択の場合も府民が分かりやすいように明確な理由説明を望む。
- 近年、中小河川に対する治水対策に注目が集まっているため、力を入れて対応してもらいたい。
- インフラ長寿命化対策に関する提案は府が策定した維持管理計画に対する新しい着眼点として府民が何を望んでいるかを学ぶ姿勢を持ってもらいたい。

＜横山委員＞

- 府民は、近年の線状降水帯を不安に思っているため、河川に関する要望は今後増加すると思われる。ハザードマップ等を活用しながら、破堤に至る事象なども伝えると防災面でも有用と思われる。
- できる限り自治会で集約し、提案してもらうようにすれば、地域防災に繋がり、自治会のスキルアップにもなる。
- コミュニティを強化し、橋梁など構造物の維持を補えるネットワークづくりに今後役立ててもらいたい。

＜森口委員＞

- 電子申請による提案者にはメールかHPで結果を伝えた方がスピード感があり良いのではないかと。可能であれば、設計方法・工事着手・完成時期を地元にお知らせしてほしい。
- 採択結果の「一部実施」は、せっかく実施しているにもかかわらず、過小評価されるように思う。

＜脇本委員＞

- 自治会長等からの提案内容の相談や事前確認を町が行うこともあり、その場合は、紙での申請の方がやりやすい。電子申請も今後必要なツールであるため、様々な方法で提案できる体制は良いことである。